

看護職員地域確保支援事業

平成31年度 復職支援研修(手厚くしっかり体験コース)における研修プログラム【浩生会スズキ病院】

1日コース		5日コース		7日コース(看護師)	
講義をメインとするプログラム 対象: いずれ再就業したいと考えている方		模型を使用した手技演習をメインとするプログラム 対象: 再就業に向けて少しずつ準備したいと考えている方		病棟における実習をメインとするプログラム 対象: すぐにでも再就業したいと考えている方	
1 日 目	A	オリエンテーション・交流会	オリエンテーション・交流会 1時間	A	オリエンテーション・交流会 1時間
	M	ナースバンク関係書類の記入・病院見学	ナースバンク関係書類の記入 1時間・病院見学	M	ナースバンク関係書類の記入 1時間・病院見学
	P	講義: 最近の医療・看護の動向・医療安全など	講義: 最近の医療・看護の動向・医療安全・感染管理 など	P	講義: 最近の医療・看護の動向・医療安全・感染管理 など
	M	再就業支援相談		M	
		演習及び病棟での実習			
内 容		方 法		内 容	
2 日 目	A	1 採血 2 輸液・静脈注射 3 筋肉・皮下注射 演習 1) 薬剤処方箋・指示の確認 2) 準備 3) 本人確認 4) 刺入部位の確認 5) 刺入: 駆血帯の扱い、刺入角度 6) 針とルートの固定 7) 滴下数合わせ 8) 輸液ポンプの取扱いなど	指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置 2 準備 1) モデル(静脈・採血等) 2) 椅子、注射台(空床があればベッド) 3) 輸液ポンプ・シリンジポンプ 4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 5) AED(演習用)とリトルアン(人形) 6) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 モンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで演習 4 所要時間 ひとり20分から40分。一つの項目全体で2時間程度 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。 (質問を受ける、実践指導等)	2 日 目	2日目から4日目午前までの7日コース (看護師)の研修内容及び指導方法等は、 5日コースと同じです
	M	4 AEDの取り扱いと演習 5 体位変換と移乗 1) 体位変換上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位 安楽な体位の工夫 2) 車椅子への移乗 仰臥位→端座位→車椅子(車椅子の操作) 3) ストレッチャーへの移動 仰臥位→ストレッチャーなど	3 日 目		
3 日 目	P	6 薬の知識 1) 講義: 与薬・危険な薬剤 2) 処方箋や薬剤の確認方法や間違いやすい要因を説明 7 看護観察・DVD視聴 演習 「フィジカルアセスメント」	1 薬の知識では、処方箋や薬剤を実際に見せ具体例を挙げ説明 2 左記DVDは基礎的な内容のものを使用 3 DVDの内容を研修生に説明	4 日 目	
	M	病棟実習 1 病棟オリエンテーション 1) 病棟の構造、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2 援助の実践 1) 環境整備(リネン交換) 2) バイタルサイン測定 3) 体位変換 4) 移乗・移送 5) 清潔の援助(口腔ケア、清拭など) 6) 食事の援助 7) 排泄の援助 3) カンファレンス参加	指導体制・方法 原則として、1名の研修生に1名の指導者を配置 1 病棟課長(師長)もしくは研修担当がオリエンテーション実施 2 指導看護師と一緒に援助を行う。 * 援助の際は、必ず患者様に了承を得る。 * 援助は病院所属の看護師の指導のもとで行ない、原則責任は病院が負う。		
4 日 目	A			5 日 目	
	M				
5 日 目	P			6 日 目	7日目AMまで病棟実習を継続して行う。
	M				
		交 流 会		7 日 目	
		交 流 会			
		交 流 会			